



令和3年度 事業実績について（報告）

1 総括

- 令和3年度は産業フェスタなどの大規模イベントが、昨年度に続き、軒並み中止となったほか、世界情勢やコロナ禍による物流の影響を受け、輸出PRが難しい状況となるなど、当協議会の活動においても、厳しい1年となりました。
- こうした中、課題である若い世代への産地PRや地産地食の推進について、PR動画の作成やSNS等を活用した電子媒体による情報発信の強化に加え、各イベントにおいては、体験要素の付加やコロナ禍でも実施できる手法等を検討しながら、市内産農産物の消費促進及び農業者・農業に対する理解を深化させる取組を地道に継続しました。
- また、東京オリンピック・北京オリンピックのメダリストへの農産物贈呈や機関連携によるメディア露出の拡大など、産地PRに努めました。
- 地産地食応援店の順調な拡大やイベント参加者からいただいた声などから、取組については一定の成果があったと考えておりますが、引き続き、WITH コロナ・AFTER コロナにおける社会情勢や消費動向に注視しながら多様な視点で活動を展開する必要があります。

2 協議会の開催

- | | | | |
|---------|-----------|--------|----------|
| ①第1回幹事会 | 5月17日（月） | 第1回協議会 | 5月18日（火） |
| ②第2回幹事会 | 11月25日（木） | 第2回協議会 | 12月1日（水） |

<内容>

- ① 前年度事業実績及び収支決算報告、事業計画、新規輸出支援事業要綱承認
- ② 前期事業実績報告、後期事業計画及び令和4年度事業の進め方承認
ブランドマーク更新承認（幹事会）



3 2021 豊田市農林畜産物品評会の開催

(1) 品評会の開催

品目	出品数	実施日	実施場所
桃	14	7月9日	イオンスタイル豊田
ぶどう	生産者の収穫時期が合わず、出品数確保できずに中止		
なす	17	8月30日	豊田市役所 西庁舎6階 西61会議室
梨	16	9月17日	イオンスタイル豊田
いちじく	23	9月17日	イオンスタイル豊田
鶏卵	6	11月4日	JA産直プラザ
しいたけ	8	11月5日	JAグリーンセンター松平店
白菜	8	12月16日	JA産直プラザ

ねぎ	生産者の収穫時期が合わず、出品数確保できずに中止		
サニーレタス	生産者の収穫時期が合わず、出品数確保できずに中止		
かぶせ茶	7	12月22日	豊田市役所 南庁舎1階ロビー
てん茶	8		
いちご	7	2月18日	イオンスタイル豊田

<効果・課題>

〇コロナ禍での開催ではあったが、小売店の理解・協力を得ながら品評会の「見せる化」を継続でき、農業に対する市民への理解促進や販売促進に寄与することができた。

●来場者試食による「消費者賞」の選定ができなかったことで、見学者は例年より少なく感じた。

(2) 2021豊田市農林畜産物品評会金賞授与式の開催

《日時》 令和4年3月14日(月)

《場所》 JAあいち豊田本店 2階 ふれあいホール

《金賞受賞者一覧》

品目	出品者		品目	出品者	
	住所	氏名		住所	氏名
桃	舞木町	磯村 直紀	しいたけ	西岡町	前田 弘
なす	松平町	加藤 誠一	白菜	亀首町	梅村 賢次
梨	舞木町	加藤 吉裕	かぶせ茶	吉原町	山内 祥正
いちじく	みよし市	加藤 哲平	てん茶	豊栄町	石川 龍樹
鶏卵	千足町	杉浦 正司	いちご	若林西町	原田 眞吉



4 とよたの農産物のブランド力向上

(1) トップアスリートへの特産品贈呈（トップセールス）

東京オリンピック・パラリンピック及び北京オリンピック・パラリンピックにおいてメダルを獲得したわがまちアスリートへ当協議会より特産品の桃・イチゴを贈呈した。

<取組実績>

- ・女子ソフトボールチーム（渥美選手、後藤選手、峰選手、山崎選手）（7/30）
- ・アーチェリー 武藤選手（8/3）
- ・女子バスケットボールチーム（長岡選手、馬瓜選手、三好選手）（8/17）
- ・パラ陸上 鈴木選手（9/13）
- ・スキーモーグル 堀島選手（2/17）
- ・パラスキー 森井選手、村岡選手（4/1）※経費支出は3/31のため、R3実績で報告。

<効果・課題>

- メディア露出による、市外へのブランド産品PRと、市民に対する郷土愛の醸成
- 一過性のものにしないため、継続的な取組が必要。



(2) シンビジウムのPR展示（11月18日～23日）

市内外に豊田市のシンビジウムの魅力をPRするため、市内4か所にて展示を行った。特に、豊田参合館においてはシンビジウムを中心としたフォトスポットを設置し、若い世代へのPRを図った。

<取組実績>

- ・シンビジウムを中心としたフォトスポット及びシンビジウムの展示（豊田参合館）
- ・シンビジウム1鉢（名鉄トヨタホテル、ホテルトヨタキャッスル、ホテルフォレスト）

<効果・課題>

- イメージに合った効果的な花のPR
- 効果がわかりづらい。

<関連事項>

- ・小菊展示（9月：市役所）※県事業



(3) とよたプレミアムスイーツクラブとの連携事業 ⇒ コロナ禍の影響で中止

(4) 市のSNSアカウントと連携したブランド製品のPR

茶、すいか、桃など、ブランド製品の旬に合わせた情報発信を実施



5 地産地食推進事業

(1) 地産地食応援店の拡大

市内産農産物及び農産物を使用した加工品を取り扱う店舗の情報収集を行い、応援店の登録を積極的に呼びかけた。

<登録店舗数>

年度	小売店	飲食店	累計
2	92店舗	97店舗	189店舗
3	98店舗	114店舗	212店舗



<効果・課題>

○応援店の拡大により、市民が市内産農産物を購入しやすい環境づくりが向上した。

また、のぼり等の資材により、視覚によるPRができています。

- 事務局のみでの情報収集は限界があり、構成員においても情報があれば事務局への提供をお願いしたい。また、登録店舗の閉店などが一部で見受けられており、連携事業や応援店PRなどによる側面支援をいっそう進める必要がある。

(2) SDGsポイントの交換（とよた地産地食の贈り物・とよたのおみや）

当事業は、制度の運用が変更したことに伴い、7月申込み分で終了した。

<交換実績>

①とよた地産地食の贈り物

月	商品	R2	R3
4月	原木乾燥しいたけ（4袋）バラエティパック	1	1
5月	いちごシャーベット（8個セット）	0	2
6月	豊田産新茶 2袋（80g/袋）	0	3
7月	桃（白鳳）2kgフルーツ箱 1箱	15	23
8月	ブルーベリー 500g	12	8
9月	黄桃（ゴールデンピーチ）2kgフルーツ箱 1箱	29	13
10月	新米（ミネアサヒ）5kg	20	4

②とよたのおみや

商品	事業者	利用件数
手摘み抹茶の焼き菓子と深蒸し茶	高香園	1
猿投の桃ゼリー（7・8月のみ）	菓子処 松華堂	6
ブルーベリーフィナンシェ・ジャム	(株)杉田組	4
TOYOCA（トヨカ）	キングパン	3
くるまる2箱セット	井桁堂	2

(3) SNSを利用した情報発信

<取組実績>

地産地食 Facebook による情報発信（投稿回数 65 回、フォロワー 1,074 人）

<効果・課題>

○旬の情報をタイムリーに発信ができ、フォロワーも増加している。

●今後の運営方針の検討が必要。

(4) 機関連携によるPR動画等の作成

<取組実績>

①トヨタ自動車ラグビー部協力「ありがとうのドラマ～豊田のおいしい愛宕梨～」作成

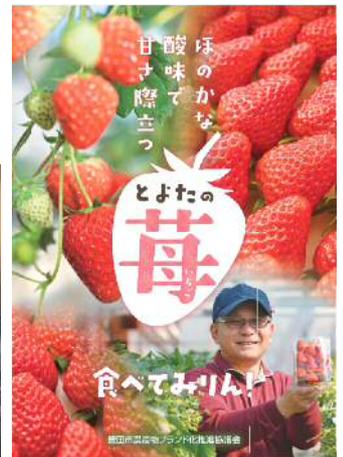
②地産地食応援店協力「地産地食のススメ」作成

③「とよたのイチゴ」PRポスター作成

<効果・課題>

○電子媒体による若年層へのPRに一定の成果が得られた。

●活用策（出前講座や学校教育、小売店等での販促ツール）の拡大。



(5) 地産地食冒険隊～とよたの桃編～（8月26日）【新規】

若い世代への産地PRや地産地食を推進するため、小学校高学年及びその親4組を対象とした農業体験型イベントを実施した。

<開催内容>

卸売市場見学、桃に関する講義、ほ場での桃収穫体験、選果場見学

<効果・課題>

○「生産者の顔が見えたことで産地に関心を持つようになった」「これまで以上に豊田の桃を身近に感じそう」などの声をいただくなど、地産地食の推進につながった。

●より効果的な事業運営の検討。



(6) 農産物直売所スタンプラリー (7月31日～10月31日)

農産物直売所の相互周遊性を高めながら市内直売所の認知度向上を図るスタンプラリーを、豊田市農産物直売所連絡協議会との連携により、各店舗で感染防止策を講じたうえで実施した。

<取組実績>

応募総数 134通

<効果・課題>

- 昨年度に続き、多くの参加者を得るなど、各直売所の認知度や直売所間の周遊性の向上に繋がった。
- より魅力的な直売所づくりへの工夫。



(7) 市内3ホテルで楽しむ とよた地産地食フェア The Final! (9月1日～10月31日)

地産地食の推進を目的に、「とよたひまわりポーク」を使用したランチと市内産フルーツを使用したスイーツを開発し提供する「とよた地産地食フェア」を3ホテルと連携して開催。スタンプラリーを実施し、当協議会からはスイーツ完走者に対し、「豊田産お茶とお菓子の詰合せ」を贈呈した。

<開催内容>

事業者	料理名	市内産農産物
名鉄 トヨタホテル	ひまわりポーク膳	とよたひまわりポーク、梨
	豊田産はちみつを使ったロールケーキと豊田産旬のフルーツ	梨、いちじく、はちみつ
ホテル トヨタキャッスル	ひまわりポークカツカレー	とよたひまわりポーク、米
	いちじくのタルト	いちじく
ホテル フォRESTA	ポークコンフィ入りアッシュェパルマンティエ・低温で仕上げたローストポーク・ポークの赤ワイン煮込み	とよたひまわりポーク、米、しいたけ、なす
	抹茶のパウンドケーキ、無花果のタルト・ほうじ茶のアイスクリーム・梨のコンポート・珈琲プリンと栗のクリーム	茶、梨、いちじく

<取組実績>

ランチ完走者 64通

スイーツ完走者 60通

<効果・課題>

- コロナ禍の影響を受けたが、前回以上の参加者を得ることができた。
- ホテルフォRESTA閉店に伴い、今後の展開策の検討が必要。



(8) 食べまい豊田のお米キャンペーン開催(10月30日～11月30日) @メグリア全店

期間中に新米を購入した方に関し、抽選で特産品があたるキャンペーンをJAあいち豊田とメグリアとの共働事業として開催。

7回目となる今年は、上郷・高岡地区で栽培を開始した「にじのきらめき」を新たにPR。とよたPR大使もSNS等でPR協力。

<取組実績>

応募総数 243通

<効果・課題>

○前年度を上回る参加者を得るなど、市内産米の消費促進に寄与。

●コロナ禍におけるPR手法の検討



(9) 斡旋販売の協力

新型コロナウイルスの影響によるイベント中止などにより、厳しい状況にある当市ブランド産品に対する斡旋販売協力を関係機関と連携し、行った。

① 自然薯

販売数 : 194本

販売金額 : 660,800円

② 茶(とよた茶応援セット)

販売数 : 237セット

販売金額 : 376,000円

③ シンビジウム

販売数 : 203鉢

販売金額 : 609,000円



6 輸出支援



(1) あいち農林水産物輸出促進会議出席(7月:書面開催、11月:Web開催)

(2) 輸出実績

① 桃【黄美娘、ゴールデンピーチ】

輸出先: 香港、タイ

輸出量: 1,315kg (前年比▲2,010kg)

販売額: 1,237,180円 (前年比▲2,123,680円)

② 梨【愛甘水、幸水、あきづき、愛宕】

輸出先: 香港、タイ

輸出量: 1,537kg (前年比▲1,475kg)

販売額: 1,033,060円 (前年比▲765,990円)

<概況>

- ・桃については、船の遅延などにより、ゴールデンピーチの出荷が香港の中秋節に間に合わず取扱量が大幅に減少。
- ・梨については、タイ向け輸出の本格化を図る予定であったが、新型コロナウイルスの影響もあり、昨年度実績を下回る結果となった。

(3) 輸出に取り組む農業者への支援

- ・今年度より新設した「とよた農産物輸出推進事業助成金」により、輸出に取り組む茶農家に対し、輸出に関するサンプル費、商談会参加費、パッケージ作成費を支援した。

<効果・課題>

○輸出拡大に取り組む農業者の負担軽減。挑戦的取組の動機づけ。

- 事業周知の強化。

(4) 梨の海外プロモーション支援 ⇒ コロナ禍の影響により中止



7 イベント出展

(1) とよた産業フェスタ ⇒ コロナ禍の影響により中止

(2) フェア・商談会等への出展支援

マルシェ等への出展相談に対し、マッチングサポートを実施

(3) 商談サポートの実施

市内飲食店等からの要望に応じ、マッチングサポートを実施

8 トピックス

○ 下山地区の小ギク農家 梶 孝光さん 農事功績表彰「緑白綬有功章」を受章！

下山地区で、切花小ギクと繁殖和牛の複合経営を営む梶孝光(かじ たかみつ)さんが、公益社団法人大日本農会(総裁：秋篠宮皇嗣殿下)主催の令和3年度農事功績表彰において、「緑白綬有功章」を受章し、3/25に豊田市長を表敬訪問しました。

今回の受章は、牛ふん堆肥施用による土づくりや省力化技術の開発・導入により、小ギクの高品質・安定生産を実現するとともに、地域の生産組合の組合長として、長年、技術指導や後継者育成に励み、愛知県内1位の小ギクの共選共販産地を築き上げるなど、本市農業の発展に大きく貢献したことが認められてのものです。

ブランド産品である「小ギク」の第一人者として長年生産に尽力されてきた梶さん、本当におめでとうございます！

